

お楽しみ会

2019



vol.199

8



第40回訓子府ふるさとまつり参加
～青年部南支部～
(紹介は2ページです)

特集

- 農作業事故「ゼロ」運動実施
～明日も笑顔で農作業～
- 第16回JAきたみらい乳牛共進会



秋まき小麦の収穫

季節の薫り



ようやく本格的な夏がやってきました。

昨秋に種まきをし、寒い冬を乗り越えた、きたみらい地域の秋まき小麦の収穫が7月24日から始まりました。5月には少雨と35度以上の猛暑日もあり生育が心配されましたが、順調に推移しました。

輝く黄金色に色づいた小麦畑を大型コンバインが音をたてて次々と麦穂を刈取ります。大型トラックに積み込まれた小麦は、JA小麦乾燥調製貯蔵施設へ搬入されます。

8月からは春まき小麦の収穫へと続きます。空模様を気に使いながら、短期決戦で大型コンバインが競い合うように駆けめぐります。
(辻本 均)



【JAきたみらい地域の秋まき小麦作付け面積約3,920㌥。写真は7月24日、北見地区・豊地の福井慎一さんの圃場で撮影。刈取りは、北見市麦作振興会第2班で、刈取り面積約160㌥を計画しています。】

表紙紹介

第40回訓子府ふるさとまつり参加 ～青年部南支部～

7月13日と14日の両日、第40回訓子府ふるさとまつりが開催されました。青年部南支部産業観光専門部員も町や他の青年団体と共にまつりを盛り上げました。

前夜祭では、訓子府・置戸両町のマスコットキャラクターを始め、今年40周年を迎える「ガンダム」の図柄を作製し、行灯パレードに参加しました。

14日の本祭では、今年から新たなアトラクションとして「ネコ車（＝輪車）でGO」を企画。2人1組で段ボールが積まれている一輪車を押し、コースにある障害物をクリアする競技となっています。当日は9チームが参加し、雨が降る悪天候の中、白熱した戦いが繰り広げられました。

今回、青年部南支部役員4人も参加。普段1人で使う一輪車とは違い、2人で息を合わせる難しさがあり、悪戦苦闘しながら慎重にゴールを目指していました。参加した青年部南支部の有馬慎吾支部長は「ふるさとまつりが盛り上がり、と思いつく。これからも両町の行事に積極的に参加し盛り上げていきたい」と話してくれました。
(大石 友和)



▲青年部南支部産業観光専門部員の皆さん
(行灯パレード出発前にて)

もくじ CONTENTS

○おひさまサラダクッキング 「丸ごとマーボナス」 「ズッキーニのチーズ焼き」	20
○JAからのお知らせ	12
○ほのぼのの広場 ・きたみらい青年部 ・なかよし夫婦 ・ブリティーウーマン ・わが家のアイドル	10
○地域だより	8
○季節の薫り	2
○表紙紹介 「第40回訓子府ふるさとまつり参加 ～青年部南支部～」	2

特集1 農作業事故「ゼロ」運動実施 「明日も笑顔で農作業」	4
特集2 第16回 JAきたみらい乳牛共進会	6

農作業事故「ゼロ」運動実施

明日も笑顔で農作業

○関連冊子の紹介

設備は
正しく使う!

朝礼は全員で
安全確認!

作業用資格は
必ず取得!

健康管理の
徹底!

整理整頓!
安全な作業場!

作業前に
必ず点検!



JA全国共済連が行っている「農業リスク分野の取組み」で本年度6月に組合員の皆さんへ配布しています。



おひさまサラダ8月号と同封し組合員の皆さんへ配布しています。

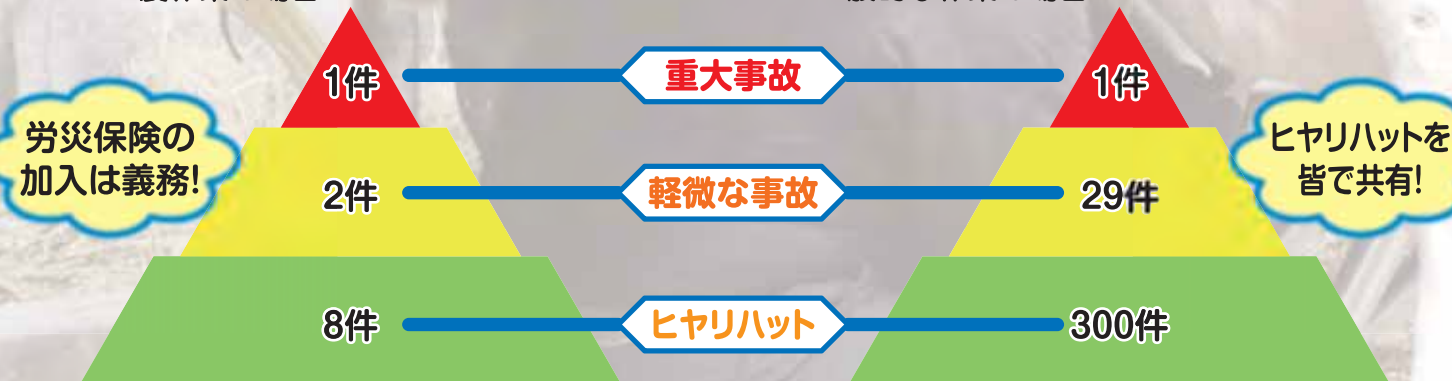
「農作業を安全に行うために」で紹介しているイラストは当JAのHPから取得できます。必要に応じてご活用下さい。
(保存先) JAきたみらいHP / 組合員専用ページ / 各種書式様式ダウンロード

○農作業事故におけるハインリッヒの法則

ハインリッヒの法則とは、1件の重大事故が起きている背景に29件の軽微な事故があり、さらにその事故に対して300件のヒヤリハットがある。故にヒヤリハットに対して対策をすることで事故を防ぐことができるというものです。

・農作業の場合

・一般的な作業の場合



農作業の場合、一般的な作業に比べると1件の重大事故に対しての軽微な事故やヒヤリハットが少ないというデータがあります。その原因として以下の点が考えられます。

- ・作業者同士でヒヤリハット体験が共有されていない。
- ・農作業現場は天候等、日々変化するため毎日が同じ状況ではないので、対策が取りにくい。

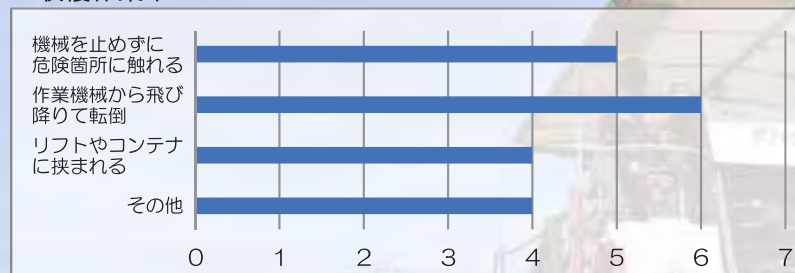
→家族や地域の中で事故、ヒヤリハット体験を共有することで、農作業事故を減らすことにつながります。

※参考 一般社団法人・日本農村医学界資料より

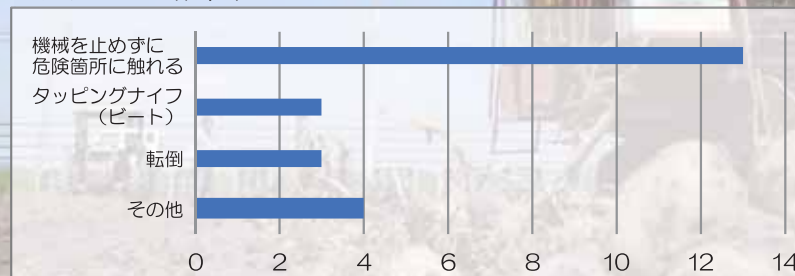
- ・農作業事故は天気や体調など様々な要因が重なって起きます。
- ・作業前に経営主は必ず、作業者全員へその日の仕事の注意事項を伝え、作業後はヒヤリハットの共有をしましょう!

○事故事例紹介 (H28~30年)

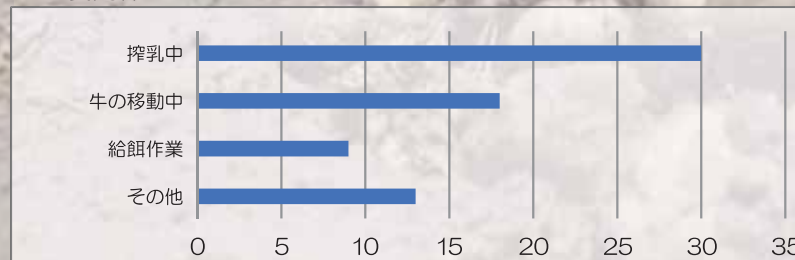
・収穫作業中



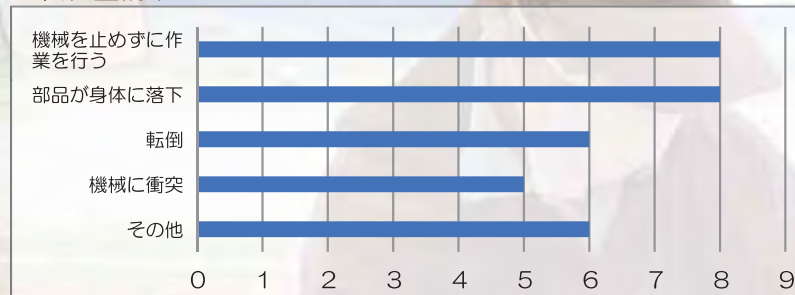
・タッピング作業中



・酪農関係



・機械整備中



○重点的な推進活動

- (1) GAPで取り組む労働安全管理の内容を通じて農作業安全対策を図り、自己分析情報等を活用して現場での改善を図る。
- (2) 全ての作業員が安全意識の向上を図られるよう、ヒヤリハット体験の共有の推進、事故事例や啓発資材等を使用した「注意喚起」を実施する。
- (3) 作業前に経営主から作業者全員へ安全確認するよう推進する。
- (4) 組合員が参加する会議や集会等で農作業安全に関わる話題を取り上げ、安全意識の向上を図る「プラス安全」を合言葉に取り組みの定着化を図る。
- (5) 組合員の労災保険制度への加入促進を図る。

○各種取り組みの実施

- (1) 行政、農機メーカーと連携して、農作業事故防止情報の収集を強化するとともに、自己分析情報を活かし現場での安全利用や農業機械の安全設計を図る。
- (2) 農作業事故「ゼロ」運動の認知度の向上と農作業安全に対する組合員意識の醸成を図るため、農作業安全コンクールを開催し、優秀な作品を表彰する。

○実践期間

令和元年8月1日~令和3年1月31日(1年6ヶ月)

組合員戸数の減少に加え、労働力が不足していく中、毎年約80件発生し続けている農作業事故を減少させるため、広報誌での特集、農作業事故が発生した都度、FAXによる情報発信と注意喚起を実施してきましたが、本年、これまで2件の農作業死亡事故が発生しました。
この事態を重く受け止め、第5回定例理事会(R元年6月26日開催)において、農作業事故「ゼロ」に向けて取り組む事を決議し、R元年夏期地区別懇談会において、組合員とJAが農作業事故における現状と課題を共有しました。
第6回定例理事会(R元年7月30日開催)において、改めて当JAの重点事項の一つと位置づけ、関係団体と一体となった「農作業事故「ゼロ」運動」を展開することを決議しました。

第16回JAきたみらい 乳牛共進会



▲経産の部最高位賞 北見 山内誠さん
「DH ドット コム」



▲審査会場に笑顔で向かう参加者



▲審査員を務めた佐々木宏之氏



▲ショウマンショーの審査の様子



▲最高位賞のバナーを受け取る参加者(経産の部)



▲立派にリードする森岡大翔くん



▲きたみらい牛乳の無料配布



▲開会の挨拶をする大坪専務

7月20日、当JAときたみらい酪農振興協議会の共催で訓子府町の北見管内畜産総合施設で乳牛共進会を開催しました。

きたみらい地域から52頭の乳牛が出品され、体形の美しさや骨格の力強さ、乳房のバランスなどの資質を競い合いました。審査員は中標津町のアースイースト牧場・佐々木宏之氏が務めました。

当日は時折小雨が降る悪天候の中、未経産牛から経産牛まで13部門で審査が行われました。

最高位賞は、経産の部、未経産の部ともに北見地区の山内誠さんが出品した「DH ドット コム」(経産)



▲未経産・経産の部の最高位・準最高位の受賞牛と関係者の皆さん

【未経産の部】	最高位 「DH チャンス ソロ」	北 見 山内 誠氏 (右2頭目)
	準最高位 「バレルファーム サクセス ドアマン ET」	上常呂 (同)バレルファーム (右1頭目)
【経産の部】	最高位 「DH ドット コム」	北 見 山内 誠氏 (左2頭目)
	準最高位 「ブルースカイ スパークリング イーコン」	訓子府 大塚 陽太氏 (左1頭目)



▲デイリークイーンを務めた
高野職員と熊谷職員 (左から)



▲来賓の挨拶をする
井上置戸町長

産、「DH チャンス ソロ」(未経産)が受賞しました。

13部以外にも子どもから実習生までが出場するショウマンショーでは10頭が出品し、「小学3年生以下の部」と「小学4年生から実習生の部」が行われ、大人顔負けのリードを見せてくれました。

その他にも会場ではきたみらい牛乳の無料配布やくねっぷりんの販売、ポップコーンの無料配布、牛肉の販売や焼肉広場、抽選会など、大勢の来場者で賑わいました。



▲ショウマンショー小学3年生以下の部に参加したみなさん

当JA青年部西支部留辺薬地区は7月19日、同地区を対象に廃農機具の回収を行いました。

この取り組みは、青年部が農村環境美化推進運動の一環として毎年7月中旬に行っており、今年で17年目となります。

廃農機具と部品、パイプ類、オイル缶、鉄骨など約15トン回収しました。

この活動は毎年好評であり、なかなか整理がつかず、家や畑の周りに置き去りにされている廃農機具類がきれいに片付けられ、農村環境美化にもつながっています。

留辺薬地区の藤田地区長は「青年部として地域貢献活動は大切なことだと思うので今後も実施していきたい」と話してくれました。

青年部は今後も環境に配慮した活動を念頭に、廃農機具回収を継続していく方針です。（菊池 光祐）



▲廃農機具を回収するため、バケットに載せる部員

西地域 留辺薬 **廃農機具を回収**
～JA青年部西支部留辺薬地区～



▲音楽に合わせて踊る子どもたち

東地域 上常呂・北見・端野 **舞踊パレードでJAをアピール**
～組合員ら150人が参加～

第66回北見ぼんちまつりが7月19日から21日まで北見市内で行われました。

初日の「舞踊パレード」には28団体、約2600人が参加し、「サンバ北見ばやし」の音楽に合わせて市街地約1kmを軽快に踊り歩きました。

当JAからも役職員や組合員、青年部、女性部、フレッシュミズのみなさん150人が浴衣やはっぴ姿で参加。青年部東支部（萩原涼太支部長）の28人はミニトラクターの山車（だし）を牽引し、威勢の良い掛け声に合わせながら沿道に集まった方々にJAをアピールしました。

終了後の慰労会ではきたみらいセンター事務所でカラオケ大会を行い、組合員同士の交流を図って、盛り上がりを楽しみました。

（臼井 慎吾）



地域だより



暑さが続く7月下旬、各地で秋まき小麦の収穫作業が行われる中、相内地区では水稻の防除が行われました。例年、病害虫対策として、ビーグルと呼ばれる機械を使用し農薬を散布します。

相内地区では約220ヘクタールの水田を、4台のビーグルを使い一斉防除をします。

JA担当者は今年度の生育状況について「植え付けからここまで天候が良く生育は順調に推移している」と話しています。収穫作業は9月下旬から10月中旬ごろに行われる予定となっております。

（菊池 光祐）

西地域 相内 **全量一等米を目指して**
～水稻の管理作業、順調～



▲ビーグルに乗り、水稻の防除をする様子

南地域 置戸・訓子府 **歓喜に沸いたミニバレー☆**
～JAきたみらいフレッシュミズ置戸・訓子府支部～



▲得点が入り喜ぶみなさん

当JAきたみらいフレッシュミズ置戸支部（小木佳子支部長）、訓子府支部（森梓支部長）は7月9日、訓子府町スポーツセンターで合同研修会を開催し、会員総勢24人が参加しました。

来年度より支部再編をする予定のため、前段に合同全体会議を実施、再編に向けての協議を行いました。その後、支部合同のミニバレーを実施し、接戦を制し勝利したチームの会員からは歓喜の声が沸き起こっていました。

終了後は、訓子府若富倉庫にて懇親会を行い、共に汗を流したチームメイトと焼肉を囲み、地域分け隔てなく会話が弾みました。

参加した会員は「支部再編前に良い交流ができた」「明日の筋肉痛が恐ろしい」と話してくれました。

（大橋 弥生）

きたみらい
青年部



出会いと繋がり

端野地区・緋牛内

貝沼 隼人さん(34歳)

●大切にしていること

「食を支える」を意識しています。
消費者の皆さんに作物を安心して美味しく食べていただ
けるよう、心がけています。

●農業を選んだ理由

家業だということもありますが、社会人として札幌にいた
頃に結婚し子供ができた時に、育児は自然が豊かな地元でし
たいと思ったからです。

●農業にける思い

将来、子供たちが進路を決める頃に、農業が魅力的な職業
であるように頑張りたいです。

●青年部の魅力は？

「人との出会いと繋がり」です。
今期、東支部の副支部長と本部理事に就任したことで、多
くの方と知り合う機会が増えました。人脈があるということ
は自分の財産になると思います。将来必ず自分の糧となるの
で、部員の皆さんも積極的に事業活動に参加・交流し人脈を
築きましょう！

今回はJAきたみらい青年部東支部副支部長の貝沼隼人さ
んに登場いただきました。(織田 和訓)

プリティ
ウーマン
Pretty Woman



「輪」が広がる
フレミズ活動

北見地区・美里

安斉 里実さん(37歳)

今回はフレッシュミズ東支部の安斉支部長に登場
いただきました。(大橋 弥生)

◆出身、結婚に至るまでは？

出身は網走市で観光地を巡るバスガイドとし
て働いていました。主人との出会いは、北見の
知人の紹介でダブルデートに招かれ、その場で
出会って意気投合しお付き合いをすることに。
1年間の交際期間を経て結婚。決め手は、主人
の歌声に心を掴まれたことですかね♪

今では2男2女の子どもに恵まれ、絶賛子育て
奮闘中です(笑)最近1番手がかかるなと思う
瞬間は、4人の子どもを連れてお出かけをする
ことです。色々なところに走っていくので
大変……。

◆趣味は？

もともと細かい作業が性に合っているほうで、
物作りが特に好きです！ここ最近「PPバンド」
や「クラフトバンド」を使用したカゴ作り
にハマっています。自分で作ることで、
色や形を自由に決めることができ、様々な種類
を仕上げるのが出来るのが物作りの最大の魅
力だと思います！家事の合間に時間をつくり、
作業をすることでちょっとしたストレス発散に
なっているのかもしれない。

◆ご自身はどんな性格だと思いますか？

人と話をするのは好きですが、実は人見知り
です(笑)楽しい雰囲気の方が好きなので、
呑み会の場でみんなとお酒を飲むことが楽し
みの一つです。

◆組織活動の魅力や今後の抱負は？

各支部・本部の活動に参加することで、自分
の地域やさらに他の地域のフレミズさんと仲良
くなることができ、「輪」が広がることが最大の
魅力だと思います。家事や育児でなかなか人と
会うことが少ない方も、活動時間は子ども達が
帰ってくる前、お迎えの前の時間に設定したり、
今は活動場所に託児も設置しているので、気軽
に参加して楽しんでもらいたいです。

わが家のアイドル

意思表示ができるようになったよ!!

真野家の長女、咲羅ちゃんは最近聞いた言葉を少しずつ理
解し、意思表示ができるようになってきました。お母さんが
洗濯物持ってきて～と伝えと、持ってきてくれるそうで、
将来は家族をバッチリサポートしてくれそうですね☆

最近のマイブームは、柔らかい積み木で遊んだり、マグネ
ットをくっつけて遊ぶことで、取材中も一緒に遊んでくれま
した☆

もりもりご飯を食べて成長する中、特に！好きな食べ物は
梅ひじきを和えたごはん。そしてゆずポン酢をかけたお豆腐。
味がしっかりとついた食べ物が好みの様です！

咲羅ちゃんの名前の由来は、子どもに「う行」を付けたい！
とお母さんが希望し、「咲」という文字は「笑」の古字だった
様で、明るく笑っていれば人生楽しい♪との願いを込めて名
付けられました。

お母さんの朋子さんは、「場所に慣れず人見知りをするこ
とがあるので、誰とでも仲良く遊べるような子に育てほしい」
と教えてくれました。

咲羅ちゃん、今度はドーナツ一緒に食べようね(^-^)

咲羅ちゃんは真野泰侑さん・朋子さん夫妻のお子さんです。
(大橋 弥生)



温根湯地区・松山

真野 咲羅ちゃん
(1歳3ヶ月)

Qお付き合いのきっかけは？

紹介され付き合いが始まりました。

Qお二人の趣味は？

亨さん……あれこれと物作りをすることです
が、仕事関連の物が多いです。

昌代さん……お菓子や物を作ること。今は甥っ
子の入園グッズを忙しくなる前に
完成させることが目標です！

Qお二人でこれからしたいことは？

二人で旅に出かけたい！

Qお互い好きなのは？

亨さん……いつも笑顔でいるところ。

昌代さん……失敗しても(ある程度)怒らずフ
ォローしてくれるところ。

Qお互いへの感謝の言葉

亨さん……いつもありがとう！

昌代さん……冬の運動を続けて、健康なおじさ
ん、おばさんでいましょうね。

(辻本 均)



ながよし夫婦

二人で旅に出かけたい!

訓子府地区・日出

島 貫

とおる
亨さん(53歳)

まさ
昌 代さん(48歳)

北海道大学と青年部・女性部・フレッシュミズが意見交換会を開催!!

JAきたみらい青年部（石原正啓部長）・女性部（河野由美子部長）・フレッシュミズ（仲山美知会長）各組織は、7月16日センター事務所にて北海道大学農学部の学生と意見交換会を行いました。同大学から30人と青年部役員7人、女性部役員2人、フレッシュミズ役員3人が参加しました。

この意見交換会は今年度からスタートした第5次地域農業振興方策並びに中期経営計画にあげられている同大学との共同事業「みらいプロジェクト」の一環として行われ、「くらしや農村地域の豊かさとは何か」をキーワードとして、

地域の未来を考えることが目的です。この日のために学生がまとめた質問に対して三組織役員が一つ一つ丁寧に答え、活発な意見交換会となりました。意見交換会後は、交流会で焼き肉を囲み親睦を深めました。

同事業は16日から19日の4日間で実施され、17日から18日は管内の農業法人3ヶ所と玉ねぎ集出荷施設の視察を行い、19日には同JA役員へ調査内容概要報告を行いました。

参加した学生は「農協のイメージが変わった。周囲の人たちに農協の重要性を伝えていきたい」と話しました。



▲集合写真



▲意見交換を行う青年部役員と北大生

JAグループの基本的な取り組み

2019年3月に開催した第28回JA全国大会では、3つの危機を突破し、「組合員とともに農業・地域の未来を拓く」ことを取り決めました。3つの危機とは、担い手不足や高齢化などの「農業・農村の危機」、JA組織基盤の弱体化と事業取扱高の減少という「組織・事業・経営の危機」、*わがJA、意識の低下などによる「協同組合の危機」です。

これに対する、JAの基本的な姿勢は「協同組合の原点に立ち返り、組合員の「声」に基づく運営を徹底する」ことにあります。JA役職員は日常的な対話を通じて組合員との相互理解を深め、自己改革の取り組み実績等を伝えるとともに、組合員の評価や新たなニーズを把握します。そして、地域の特性を生かして、創意工夫を凝らした個性ある取り組みを展開します。

第28回JA全国大会 創造的自己改革の実践

組合員とともに
農業・地域の未来を拓く

持続可能な農業の実現

豊かでくらしやすい地域社会の実現

協同組合としての役割発揮

食と農を基軸として地域に根ざした協同組合としての総合力発揮

農業・農村の危機

組織・事業・経営の危機

協同組合の危機

JAグループ自己改革

農業者の所得増大
農業生産の拡大

地域の活性化

組合員のアクティブ・メンバーシップの確立

持続可能な経営基盤の確立・強化

「食」「農」「協同組合」にかかる国民理解の醸成

耕そう、大地と地域の未来。

【JA全国大会】（じえいえいぜんこくたいかい）

3年に1度、全国のJAの代表者が集まり、JAグループの目指す方向などを決定する大会。第28回大会では、自己改革の基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」へのさらなる挑戦と、それを支える持続可能な経営基盤の確立・強化を重点課題として、「創造的自己改革の実践」を提起しました。

JAグループ通信

JA北海道中央会



7月3日に全道JAの組合長ら70名が参加し、国際貿易協定・交渉の情勢並びに令和2年度国費予算概算要求に係る農林水産省との意見交換会を実施しました。日米貿易協定交渉を含む国際貿易協定については、農業が犠牲にならないよう取り進めるよう十分な検証と対策を実行するよう要望しました。国費予算概算要求については、JAグループ北海道で決定した政策提案を元に、作目別共通対策、水田農業対策、畑作青果対策、酪農畜産対策と農林水産省に対して、北海道の生産現場に必要な意見を要望しました。今年度は国が「食料・農業・農村基本計画」を見直す5年に1度の重要な年であり、見直しにあたっては専業農家が多い北海道農業が食料安定供給に果たす役割の明確な位置づけと、北海道農業の根幹を支えている家族経営が農業生産を維持・拡大できる施策を盛り込むこと等、を要望しました。引き続き、JAグループ北海道の政策提案の実現を図り、今後も北海道の農家・組合員が安心して営農できるよう取り組んで参ります。



JA北海道信連



札幌市の大通公園には、各企業等の協力により造成されているスポンサー花壇があります。JAバンクも、農林中央金庫が中心となって、長年、花壇造成に協力してきています。今年は、7月6日、農林中央金庫札幌支店や北海道信連の職員などが参加し、大通公園西4丁目で植栽を行いました。

JAらしい緑化事業への参加を通じて、JAバンクは豊かな地域社会づくりに貢献しています。



JA共済連北海道



JA共済連では、7月6日に札幌ドームで開催された「北ガスグループ6時間リレーマラソン」に有志26名が参加しました。他の企業も多数参加しており、JA共済連では「ひと・いえ・くるまの総合保障」を掲げ、職員が揃いのTシャツを着て一生懸命走ることで、JA共済を大きくPRしました。

今後もこのような活動を通して多くの皆さんに「JA共済」を知っていただくよう活動していきます。



ホクレン



ホクレン女子陸上競技部は、北海道内の小学校で「みんなで走ろう！陸上教室」を開催しています。今年は厚真町の厚真中央小学校を皮切りに、同校を含む6校を対象として、走り方の基本や基礎トレーニング方法などを分かりやすく指導しています。この活動は地域・社会貢献活動の一環として2011年から続けております。厚真中央小学校では4～6年生合わせて約70人を指導し、楽しみながらランニングの基本や筋力トレーニングを教えました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

このたび紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業

耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ <https://org.ja-group.jp/>

青年 女性 ネットワーク



▲ニッカウキスキー余市蒸留所で集合写真



▲風のガーデンで花を見学する部員



▲担当者の説明に真剣に耳を傾ける部員の様子



▲視察先での集合写真

JAきたみらい女性部 支部合同視察研修を実施

JAきたみらい女性部の東エリア（北見支部・上常呂支部・端野支部）と南エリア（置戸支部・訓子府支部）がそれぞれ支部合同視察研修を実施しました。どちらも7月4日から5日にかけて行われ、総勢93人が参加しました。

東エリアは1日目にニッカウキスキー余市蒸留所（余市町）を視察。ウイスキーの歴史や製造工程について学び、ウイスキーの試飲も行いました。2日目にはくるるの杜（北広島市）に向かい、北海道産牛乳と生クリームを使った無添加のアイスクリーム作りを体験しました。

南エリアは1日目に岩塚製菓株式会社（千歳市）と北海道コカ・コーラボトリング株式会社（札幌市）を視察。両社で商品の製造工程について聞き、部員は興味深く耳を傾けていました。2日目は風のガーデン（富良野市）を視察。色とりどりの花を見た部員は、とても良いリフレッシュとなりました。

今回参加した部員は「ほかの支部の人とも交流ができる貴重な機会だった。このような活動を大切にしていきたい」と話していました。この視察研修を通し、支部間の垣根を越えて交流を深めることができました。11月には西エリアの視察研修を予定しています。

JAきたみらい青年部本部主催 視察研修を実施 ～部員55人が参加～

JAきたみらい青年部は5月下旬と6月中旬、下旬の3回に分けて視察研修を実施し、合わせて55人が参加しました。

今回の視察研修は1日目の視察先を各班で変更するという取り組みを行い、1班が雪印メグミルク株式会社、2班が北海道醤油株式会社、3班が北海道キッコーマン株式会社の工場を見学。終了後には、札幌市内の居酒屋で懇親会を開催し、普段なかなか関わることのない他支部の部員と親睦を深めました。

2日目は、全班共通で札幌市にある資材メーカーの北海道サンプラス株式会社を視察。会社の概要説明を受けた後、実際に工場のラインを見ながら、温床資材や酪農資材の製造工程の説明を受けました。

視察研修を通して石原部長は「参加した部員からは他支部との交流を深めることができ、研修も有意義なものであったと声が挙がっていた。本部の行事は今後も続くので、多くの部員に参加してもらい、交流をもっと深めてもらいたい」と話していました。

青年部は12月にも学習会を実施し、更なる知識習得に向けて活動を行う予定です。

JAからの お知らせ INFORMATION

青年 女性 ネットワーク

フレッシュミズ 会員交流 視察研修&日帰り研修報告

フレッシュミズ（仲山美知会長）は7月2～3日に一泊二日の視察研修、7月18日に日帰り研修を行いました。

＜視察研修＞

視察研修では21人の会員が参加しました。1日目は千歳市にある「麒麟ビール株式会社 北海道千歳工場」にて製造過程を見学し、麒麟一番搾り生ビール他、ソフトドリンクなどの試飲を行いました。懇親会では支部混合の座席で役員が企画したゲームを行い、交流を深めました。2日目は「北海道コカ・コーラボトリング株式会社」を見学。コカ・コーラ商品の歴史について学習し、実際に商品がトラックへ積み込まれる場面を見学しました。会員らは「普段何気なく飲んでいるものについて学習できて良かった」と話しました。その後札幌駅周辺での買い物を楽しみました。

＜日帰り研修＞

日帰り研修には12人の会員と9人の子どもが参加しました。午前中は「美幌博物館」でモザイクタイルコースターづくりを行い、参加した子ども達もお母さんと一緒につくることができました。昼食はホテル網走湖荘にてお膳ごはんを頂きました。昼食後は網走市若井農場でさくらんぼ狩りを行い、数種類の品種のさくらんぼを食べ比べすることができました。研修の終盤にはメルヘンの丘めまんべつに寄り、アイスクリームを食べ、大人も子どもも大満足の研修となりました。



▲視察研修に参加したみなさん



▲日帰り研修に参加したみなさん



▲競技に奮闘する青年部員とJA新入職員のみなさん



▲焼肉を囲み、交流を行う部員と職員のみなさん

※写真は青年部今田部員より提供していただきました。

JAきたみらい青年部主催 ソフトボールで交流を深める ～部員ら80人が参加～

JAきたみらい青年部（石原正啓部長）は6月21日、快晴のなか、全3支部の部員が交流するソフトボール大会を留辺蘂総合グラウンドで開催しました。部員、新入職員合わせて80人が参加し、熱戦を繰り広げました。

開会式では、前部長の安斉亮一さんが「部員同士と職員が共に交流を深め、楽しく怪我なくプレーする」と選手宣誓。3支部混合の6チームによる2ブロック戦で行いました。普段使わない筋肉をフル稼働させているため、ケガへの抑止啓蒙を図りながらの競技となり、終始メンバーをチェンジしながら試合を行いました。

競技終了後は懇親会で焼肉を囲み親睦を深めました。

石原部長は「昨年より若干であるが部員が増えたことはよかった。来年度はもっと多くの部員に参加してほしい」と話しました。

また、今年もアームレスリング大会を行い、東支部の豊原宏明さんが優勝し、11月のオホーツク研修大会へ出場します。

第6回 理事会報告

7月30日、午前10時00分より第6回定例理事会が開催され、報告事項13件、決議事項6件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】
- ①内部監査（購買部門）報告について
 - ②組合員状況報告について
 - ③財務状況報告について
 - ④マネーローディングガイドラインに基づくギャップ分析等の報告について
 - ⑤令和元年度夏期地区別懇談会意見集約について
 - ⑥作況調査（7月15日）について
 - ⑦令和元年度作付実態調査集約について
 - ⑧青年部・女性部・フレッシュミズと常勤理事との意見交換について
 - ⑨H30年度産計玉ねぎ・馬鈴しょの本精算について
 - ⑩小麦なまぐさ黒穂病全筆調査結果について
 - ⑪H29年度もち米の本精算について
 - ⑫乳牛共進会について
 - ⑬「きたるまん」小豆の発芽不良に係る経過及び対応について

- 【決議事項】
- ①出資減口について
 - ②固定資産の取得について
 - ③農作業事故「ゼロ」運動について
 - ④オホーツク管内系統でん粉工場再編に係る基本方針について
 - ⑤令和元年度 生乳生産の取り進めについて
 - ⑥規程類の制定及び改正について

INFORMATION

退職のお知らせ

在職中は、組合員皆様をはじめ、地域の皆様のご厚情を頂き誠にありがとうございました。



いとう かな
伊藤 加奈
（金融共済部
温根湯支店）

H10. 04. 01 訓子府町農業協同組合入組
H15. 02. 01 訓子府支所総務部総務係
H16. 05. 10 訓子府支所青果課青果係
H20. 05. 01 訓子府支所営農販売課営農販売係
H21. 06. 01 購買部生産資材グループ
H30. 04. 01 金融共済部温根湯支店
■在職期間 21年3カ月
退職年月日 R1. 7. 31



▲作業の説明をする佐藤さん

7月中旬に農福連携事業の体験実証園を設置し、北見市内3ヶ所でスタートさせました。農福連携とは、地域における障がい者の就労訓練や雇用の場だけでなく、労働力不足問題を抱える農業・農村にとって、働き手の確保や地域農業の維持を目指した取り組みで、当JAでも昨年より検討を進めてきました。同市にある就労移行支援施設「川東の里・風楽里」から7名の利用者がそれぞれの受入農家を訪れ、「ニンニク」や「サタ玉ねぎ」「白」の収穫作業を行いました。今回の体験は、受入農家に障がい者の個性に対する理解を深めてもらうことを目的に実施しました。17日に北見市美里の佐藤正人さんの圃場で真白の葉と根を切り落とす作業を行いました。真白は傷がつくと傷みやすくカビも発生しやすい特徴を持っており、作業にあたり利用者たちは佐藤さんからの説明を真剣な表情で聞き作業に励んでいました。受入農家の佐藤さんは「手際よく丁寧な作業をしてくれて助かった。手作業を必要とする作業には労働力が不足している」と話してくれました。今後「ニンニク」の播種作業、ペコロスの収穫作業などを予定しています。



▲ニンニクの根切り作業をする利用者

農福連携事業スタート ～体験実証園の設置～

道産食材を詰め込んだカレー新発売!!

JAきたみらいのオリジナル加工品「玉ねぎとチーズが溶け込んだポークカレー」が新発売されました。同JAの玉ねぎと北海道産豚肉の旨味、チーズがルウに溶け込み上品な味わいを楽しむことができます。

同JAが取り扱う玉ねぎの多くは加熱により甘味が出ることが特徴で、食材の旨味や風味を調整するため、何度も試作や試食を繰り返して商品を完成させました。

1パック（200g）は524円（税抜き）。北見市内の量販店やスーパーを中心に取り扱っています。

【問い合わせ先】JA企画開発グループ ☎0157(32)8790まで



▲新発売した「玉ねぎとチーズが溶け込んだポークカレー」

お得な！車検割引き！

期間：令和2年1月31日までのご予約で！

JAで購入した
軽トラなら 最大
13,000円割引

①車検利用特典

JA車検を利用頂いた方に、
もれなく燃料給油券を進呈

当JA給油所
で使える

1,000円分進呈

イメージ

きたみらい給油所
燃料給油券
1,000円分

②早期予約割引

入庫予定日の2ヶ月以上前に
ご予約を頂くと

車検
料金

1,000円割引(税込)

③JA共済セット割引

当JAの自賠責共済と自動車共
済をセット加入されてるお車は

車検
料金

2,000円割引(税込)

④新規利用割引

JA車検を初めて利用
(新規入庫)されるお車は

車検
料金

2,000円割引(税込)

⑤JA購入割引

当JAから車を購入後の
第1回目の車検を利用されると

車検
料金

3,000円割引(税込)

⑥営農用軽トラ割引(正組合員限定)

当JAの組合員様の軽トラック・
軽バン(40tバ-)の車検を

車検
料金

5,000円割引(税込)



- キャンペーン対象は、軽自動車から大型車両(大型特殊含む)の車検受検車が対象となります。
- 尚、二輪自動車(オートバイ)および特殊車両については「①車検利用特典のみ対象(②～⑤は対象外)」とさせていただきますので予めご了承願います。

お問い合わせは・・・

農機自動車グループ



JAきたみらい車輛整備工場

〒099-1436 釧路市訓子府町大町103番地 Tel 0157-47-4820 Fax 0157-47-3411

あなたの愛車を大切に、安心して永くお乗りいただくために！

夏期地区別懇談会終える

活発な意見や質問が80件



▲温根湯地区での懇談会の様子

7月9日から12日までの4日間、8会場にてJAの「夏期地区別懇談会」が行われ、組合員と家族のみなさんなど299戸336人が出席しました。JAからは常勤役員と西・南・東地域ごとに役員が出席し、地域運営委員長の司会により進行了しました。3時間という限られた時間のなか、8会場において多くの組合員のみなさんから延べ80件の活発な意見や質問が出されました。なお、懇談会で出された質問・意見・要望などについては、その場にて考え方などの回答をしましたが、検討を要する事項については、7月開催の定例理事会で協議の後、「Q&A」にてお知らせ致します。

地区毎の出席状況

懇談会日	地区	組合員戸数	出席戸数	出席者	出席率
7月9日	端野	184	50	53	27.2%
7月9日	北見	158	59	63	37.3%
7月10日	置戸	86	40	51	46.5%
7月10日	訓子府	274	65	68	23.7%
7月11日	留辺蘂	33	14	15	42.4%
7月11日	温根湯	68	22	28	32.4%
7月12日	上常呂	104	20	22	19.2%
7月12日	相内	74	29	36	39.2%
合計		981戸	299戸	336人	30.5%

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。
間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B

出題・イラスト：酒井栄子



7月号まちがいさがしの当選者

7月号のまちがいさがしの答えは「1、3、6、8、9」でした。正解者29名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

- ()内は地区名
- ・藤井 邦子さま (北 見) ・山本ゆかりさま (上常呂)
 - ・五十嵐心愛さま (端 野) ・大森由美子さま (端 野)
 - ・山崎 達昭さま (温根湯) ・前田 一真さま (訓子府)
 - ・相馬 里音さま (訓子府) ・箭原 厚志さま (訓子府)
 - ・下地利恵子さま (訓子府) ・永井 雄大さま (訓子府)

以上の方々には、JAきたみらいの「オニオンコンソメ」と「白花豆で作ったごまドレッシング」をプレゼント致します。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。
抽選で10名の方に、今月新発売されたJAきたみらいの「玉ねぎとチーズが溶け込んだポークカレー」2箱をプレゼント致します。

5 月の干ばつ強風、6月の少雨、7月に入ってやっとまとまった雨で一息ついたところ。来月からもう収穫が始まります。年齢とともに一年がとて早く感じます。けがをしないように一年を終わりたいと思います。(端野地区 大森 由美子さん)

7月からまとまった雨が降り、作物にとってはいい気候が続いたのではないのでしょうか? いよいよ収穫作業が始まりますが、農作業事故には気を付けてください!

時 々雨が降ってくれたので作物もなんとかいいかな。もう7月末も近くなり、また忙しくなります。体に気を付けて。(訓子府地区 下地 利恵子さん)

収穫が始まってきます。農作業事故に気を付けて、収穫作業頑張ってください。

初 めて応募しました!! まちがいさがし、ハマります(笑)これから暑い日が続きますが、体調には気を付けて仕事頑張りましょう!! (温根湯地区 山崎 達昭さん)

初めてのご応募ありがとうございます。これからもまちがいさがしを宜しくお願いします。
暑い日の熱中症対策などにも、気を付けてお仕事頑張ってください!

や っと雨が降りましたが、やっぱり気温が低いですね。これから小麦、玉ねぎ早出し、芋早出し収穫が始まります。天気が続くといいです。

7月に入り雨が降りましたが、気温は芳しくない状態が続いていますね。これから収穫作業が始まってきます。天気が続きスムーズに収穫作業ができることを願っています。

読者の声

VOICE



シニア野菜ソムリエ
kAORUの

ベジタブル ライフ

イラスト：小林裕美

チンゲンサイ

～日本で人気の中国野菜～

チンゲンサイのプロフィール
【分類】アブラナ科アブラナ属
【原産地】中国
【おいしい時期(旬)】通年(露地物は春秋)
【主な栄養成分】
β-カロテン、ビタミンC、カルシウム、
イソチオシアネート、カリウム、
ビタミンKなど

見分け方

上部
葉は美しい濃緑色で肉厚の葉の幅が広い。葉に付いている葉脈がはっきりしている



NG
鮮度が落ちて黄色く変色する

全体的に張りがありみずみずしい

下部
ふくらみを持ち、葉の軸が太い

保存方法

冷蔵保存

濡らしたペーパータオルまたは新聞紙で包み、ポリ袋に入れるかラップして、冷蔵庫の野菜室で保存

葉野菜の中では日持ちしやすいけど、できるだけ新鮮なうちに食べよう



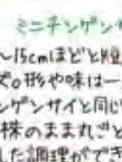
長期保存する場合
冷凍保存
軽くゆでて、しっかりと水切り、小分けにする

チンゲンサイのいろいろ



チンゲンサイ

20～25cmほどの一般的な長さの葉はみずみずしい。肉厚で幅広いシャキシャキとした食感と癖のない味わいが特徴の中華料理では欠かせない食材



ミニチンゲンサイ

10～15cmほどと小さいミニサイの形や味は一般的なチンゲンサイと同じ。柔らかく、株のまめざと味を生かした調理ができる



パクチョイ

チンゲンサイと同じような形だが、特徴は茎の部分に白い筋がなくて食べやすく、シャキシャキとした食感で、どんな料理にも使える

楽しみ方・食べ方のコツ

和洋中、癖がなく幅広いメニューに! 優しい甘味とシャキシャキの食感

炒め物や煮込み、おひたし、あえ物、スープなど

栄養成分が流れ出るのを防ぐよ

色鮮やかに仕上げるコツ
塩を振って油で炒め、その後熱湯で蒸通しして水を切る

ゆで方
沸騰させた熱湯の中に、根元部分を先に入れ、葉全体を入れてゆでる。食感や栄養価が損なわれないため、ゆで過ぎに注意

ゆで時間が用途により異なるが、ゆでてからそのまま食べるおひたしやあえ物の場合はしっかりとゆで、冷凍する場合、また炒め物・汁物などに加熱する場合は硬さが残るように、ゆで過ぎに注意

ゆで上がったらすぐに冷水に落とす。冷ましてからよく水気を切って軽く絞って使うと、色と食感が生きます

栄養を生かした調理法
高温でサッと炒めることで、熱に弱いビタミンの損失を最小限に抑える。油に溶けやすいβ-カロテンを油と一緒に効果的に摂取!

油との相性が抜群
油で炒めると色鮮やかに、かつやわらかくなる。時間がたっても退色しにくい栄養も効果的に摂取できる

チンゲンサイのじみず

「青梗菜」(チンゲンサイ)中国から伝わった野菜。中国では古くから食べられていた

日本への伝来
1972年の日中国交回復以降の食文化の交流により、日本の食文化に定着。現在は、日本人の食文化に定着し、よく知られた野菜として親しまれている



以前は「青梗(青軸)パクチョイ」「白梗(白軸)パクチョイ」と呼んでいたが、現在は、青軸をチンゲンサイ(青梗菜)、白軸をパクチョイ(白梗)と呼ぶのが一般的

おひさまサラダ COOKING

♥おいしいもの大好き!♥

丸ごとマナーボナス



◆ 材料 (1人分) ◆

米ナス1/2個
 豚ひき肉50g
 ゆでたサヤインゲン3本
 サラダ油適宜
 花さんしょう少々
A みじん切りのニンニク、ショウガ...各小さじ1/2
B 合わせ調味料
 タカノツメ1本
 トウバンジャン小さじ1/2
 テンメンジャン小さじ1/2
 トウチジャン小さじ1/2
 料理酒小さじ1
 しょうゆ小さじ1/2
 砂糖小さじ1
 ごま油少々

◆ 作り方 ◆

- ①米ナスは縦半分に切り、皮に沿って包丁を入れ、スプーンで果肉をくり抜き、サラダ油で素揚げにする。
- ②フライパンにサラダ油をしき、豚ひき肉と**A**を入れ弱火で炒める。
- ③①でくり抜いた果肉とサヤインゲン、**B**合わせ調味料を入れ、さらに炒める。
- ④素揚げの米ナスを器に見立て皿に置き、③の具材を盛り付け、花さんしょうを振る。好みでリーフ(材料外)を散らす。

ズッキーニのチーズ焼き



◆ 材料 (1人分) ◆

ズッキーニ1/2本
 ベーコン(厚さ1cm)3枚
 カボチャ(くし形薄切り)3枚
 ゆでたジャガイモ1/2個
 ニンニク1片
 チェダーチーズ1枚
 パプリカパウダー適宜
 塩・こしょう適宜
 オリーブ油大さじ1

◆ 作り方 ◆

- ①フライパンにオリーブ油をしき、ニンニクとズッキーニを入れ、ふたをして弱火で両面じっくりと焼く。
- ②①にベーコン、カボチャ、ジャガイモを入れ、塩・こしょうを振り、ふたをして両面をじっくりと焼く。
- ③焼き上げたズッキーニの上に他の材料をのせ、チェダーチーズを置く。ふたをして蒸し焼きにし、チーズが溶けたら皿に盛り付ける。パプリカパウダーを振り掛ける。リーフ(材料外)を飾る。

※献立を監修した人※ 茨城県笠間市にある「キッチン晴人(ハレジン)」オーナーシェフ **永井 智一(ながいともかず)**

編集後記

- ・雨の日が多くじめじめとした7月でしたね。これから収穫が始まり忙しい日々が続くと思われますが体調管理、農作業事故には気を付けて健康に夏を過ごしましょう!
- ・さて、今月のおひさまサラダは乳牛共進会や三組織の活動、地域のお祭りの様子など見所がたくさんです。是非じっくりとご覧ください。
- ・私事ですが入組して4か月が経ちました。まだわからないことばかりで毎日が勉強です。1日でも早くみなさんのお役に立てるよう精進してまいります☆ (芋毛 鈴奈)

JAきたみらい概要

(令和1年7月18日現在)

- ・組合員数(正) 1,658人
- ・組合員数(准) 6,341人
- ・組合員戸数(正) 980戸
- ・貯金 108,392百万円
- ・貸出金 16,246百万円
- ・出資金 4,855百万円